



れていて。
 4:14 マハナナムにはイドの子アヒナダブ。
 4:15 ナフタリにはアヒマアツ。彼も、ソロモンの娘バセマテを妻としていた。
 4:16 アシエルとベアロテにはフシヤイの子バアナ。
 4:17 イッサカルにはパルアハの子ヨシヤファテ。
 4:18 ベニヤミンにはエラの子シムイ。
 4:19 アモリ人の王シホンとバシヤンの王オグの領地であったギルアデの地には、ウリの子ゲベル。彼は、その地で唯一の守護であった。

ソロモンに与えられた知恵は、国を治めるためにも大いに用いられました。それは経済・産業・治安などにも発揮されました。主かたの守りや繁栄は、単に超自然的な方法によつて与えられるだけではなく、このように知恵によるマネジメントによつても、もたらされることを知っておきましょう。
 職場、家庭生活、個人のライフスタイルなどに、また教会でも、主の使命のための知恵によつて、秩序ある前進をしましょう。その中で、必要に応じて主は奇跡をも行ってください。

4:1 こうして、ソロモン王は全イスラエルの王となった。
 4:2 彼の高官たちは次のとおり。ツアドクの子アザルヤは祭司、
 4:3 シシヤの子たちのエリホレフとアヒヤは書記、アヒルデの子ヨシヤファテは史官、
 4:4 エホヤダの子ベナヤは軍団長、ツアドクとエブヤタルは祭司、
 4:5 ナタンの子アザルヤは政務長官、ナタンの子ザブデは祭司で王の友、
 4:6 アヒシャルは宮廷長官、アブダの子アドニラムは役務長官。
 4:7 ソロモンは、イスラエル全土に十二人の守護を置いた。彼らは王とそその一族に食糧を納めた。一年に一か月分の食糧を各自が納めることになっていたのである。
 4:8 彼らの名は次のとおり。エフライムの山地にはフルの子。
 4:9 マカツ、シヤアルビム、ベテ・シエメシユ、エロン・ベテ・ハナンにはデケルの子。
 4:10 アルボテにはヘセデの子。彼はソコと、ヘフェルの全地を任されていた。
 4:11 ドルの全高地にはアビナダブの子。ソロモンの娘タファテが彼の妻であった。
 4:12 タアナク、メギド、またイズレエルの下ツアレタンのそばのベテ・シエアンの全域、ベテ・シエアンからアベル・メホラ、ヨクメアムの向こうまでの地には、アヒルデの子バアナ。
 4:13 ラモテ・ギルアデにはゲベルの子。彼はギルアデにあるマナセの子ヤイルの町々と、バシヤンにあるアルゴブの地域で、城壁と青銅のかんぬきを備えた六十の大きな町を任さ

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたなどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

